

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 森下美和 副委員長 坪田 康・高田明典

幹事 竹内和広・神長伸幸 幹事補佐 山田寛章・下郡啓夫

日時 12月11日(日) 10:25~16:55

会場 メイン会場:オンライン, サブ会場:愛媛大・城北キャンパス (〒790-0826 松山市文京町3 教育学部本館,
<https://www.ehime-u.ac.jp/about/access/> 愛媛大・教育学部 富田英司)

議題 テーマ1:省察を通じた学び, テーマ2:メタバース・ナラティブ, テーマ3:人間の心的特性に寄り添った学習環境のデザイン

午前 セッション (10:30~12:00)

1. 応答練習と言語景観を通じた英語の自律的相互学習—学習者と意味的環境とのインタラクション—
原田康也 (早大)
2. 知識追跡と受験者シミュレーション 江原 遥 (学芸大)
3. 言語景観の語りかける先 ニューヨークにおける調査より—youを中心に— 平松裕子 (中大)

午後 招待講演セッション (13:00~14:00)

4. [招待講演] 自らの実践から生み出す研究の方法論—セルフスタディの理論と実践— 武田信子 (ジェイス)

午後 第1セッション (14:10~15:40)

5. 若手小学校教師にとってのレジリエンスとは—卒業生を支えようとする教師教育者のセルフスタディ—
○富田英司 (愛媛大)・野中陽一朗 (高知大)・三和秀平 (信州大)・坪田 康 (京都工繊大)
6. 教職志望学生は授業観察において何を捉えているのか—道徳科に着目して— 野中陽一朗 (高知大)
7. 分人の振り返りとSelf-study—オクラホマミキサ風ペアワークによる分人の産出と多面的な振り返りと学び—
山本昭夫 (学習院高)

午後 第2セッション (15:50~16:55)

8. /j/, /w/の借用元言語における分類と/CjV/, /CwV/の日本語表記 的川雄飛 (奈良先端大)
9. オンラインフォームによるリフレクションを活用した英語スパイラル型学習の一検討—教員による音声指導の適応化・学習者同士の経験の共有・システムティックなりフレクションの導入—
○坪田 康 (京都工繊大)・杉本喜孝 (帝塚山学院大)

☆TL 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2023年3月10日(金), 11日(土) オンライン [1月20日(金)] テーマ: テーマ1:通訳翻訳・ホスピタリティーコミュニケーション, テーマ2:言語景観・言語の学習・言語接触・意味の創発, テーマ3:前提の共有と操作・言語と学習・ナラティブ・メタバース

【問合先】

富田英司 (愛媛大)

E-mail: tomida.eiji.mb@ehime-u.ac.jp